

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600750
法人名	株式会社 ジェイコム
事業所名	グループホーム丹原の郷
所在地	愛媛県西条市丹原町池田1267番地1
自己評価作成日	平成22年6月16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋力低下予防のため毎朝20分ほど散歩に行き、雨天時は廊下歩行をすることが日課になっている。</li> <li>・昼、夕食時の前にはラジオ体操、口腔体操を必ず行っている。</li> <li>・日常生活でできることは自分でしていただいている。（食事作りの手伝い、シーツ交換）</li> </ul>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>職員のアイデアで、食後の下膳がしやすいように、食器を入れるかごを準備して、ご自分で下膳が続けられるようにされていたり、壁面飾りやケア等もアイデアを出し合い決めておられる。昨年度は、職員の勉強会に力を入れて取り組まれており、全職員で認知症の理解を深めたり、介護技術の習得等にも取り組まれた。</p> <p>月に1回、市の栄養推進委員会があり、調理実習等もあって、習った料理やおやつを事業所のメニューに採り入れておられる。</p> <p>利用者は、特に夜間時にご本人の思いを話して下さるようで、職員は、ゆっくりと利用者の思いに寄り添うようにされている。又、さみしそうな表情の利用者には、お話を聞く時間を取るようになっている。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム丹原の郷

(ユニット名) 上町

記入者(管理者)

氏名 山内 美登里

評価完了日 平成 22年 6月 16日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)  ホーム開設時の理念をわかりやすい文章にて各ユニットに張り出している。職員の名札の裏に記載し、いつでも職員が確認できるようにしている。	
			(外部評価)  理念の一つに「地域行事に参加しよう」と掲げて、商店街の七夕の飾りの協力をされたり、地域の集まり等にも積極的に参加され、地域と交流する機会を大切にされている。職員個々は、年に2回、個別にケア目標を決めて、それぞれが目標を達成できるよう日々取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)  交流が持てるように常に努めている。正月のとうとうさん参加、七月の七夕祭りや、柿、ぶどう狩りをしている。秋祭りの時には地域の方と一緒に写真を撮っている。秋には菊見会を開き、地域の方にも見て頂いている。	
			(外部評価)  事業所では、大輪菊や懸崖菊等を数多く育てておられ、新聞やテレビにも取り上げられている。年々、見物人が増えて、利用者も来客を喜ばれており、菊をきっかけにして事業所のことを知ってもらったり、協力者等も増えてきている。ご近所の方に菊の鉢を飾ってもらえるようお配りしたり、近くの一人暮らしのご老人が事業所に来て、菊を5鉢育てておられたりもする。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)  デイサービス事業所、居宅支援事業所が併設されており、地域の高齢者の相談窓口になっている。民生委員の方や地域の方も見学や相談に来られる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実                      際、評価への取り組み状況等について報告                      や話し合いを行い、そこでの意見をサービ                      ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の代表、家族の方、民生委員、市役所の方など                      に参加して頂き、管理者、各ユニットスタッフがサー                      ビス内容や行事について写真や資料を使い報告し意見                      を聞いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議には、昨年度から公民館長の方の出席をいた                      だき、地域行事の案内等もよくしてもらっている。ユ                      ニットごとに、ご家族が1名ずつ出席されており、事業                      所を利用しての感想等を話してもらったり、利用者も                      出席されて食事への要望等も出されている。防災や外                      部評価等、事業所の行事や活動等を報告して参加者か                      ら意見を聞くようにされている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、                      事業所の実情やケアサービスの取組みを積                      極的に伝えながら、協力関係を築くように                      取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>主に管理者が行っている。花見、敬老会などの行事の                      案内を出し、足を運んでいただける機会を設けてい                      る。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護相談員の方が月に1回来られ、気付いたことを話                      して下さっている。月に1回、市の栄養推進委員会があ                      り、調理実習等もあって、習った料理やおやつを事業                      所のメニューに採り入れておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準におけ                      る禁止の対象となる具体的な行為」を正し                      く理解しており、玄関の施錠を含めて身体                      拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ユニット会や日々の申し送りにおいてケアを振り返                      り、身体拘束が行われていないか点検している。                      身体拘束は行っていない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>外部研修で職員が身体拘束について勉強したことをも                      とに、事業所内で職員の勉強会をされたり、管理者                      は、日々の中で職員に身体拘束をしないケアの大切さ                      を話しておられる。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  施設内での勉強会や外部の研修に参加し、学んでいる。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  権利擁護についての研修に参加している。必要な人への対応は管理者が行っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時に管理者が説明し、承諾頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  運営推進会議や面会時に意見、要望を聞き、参考にさせて頂いたり、改善すべき点は速やかに行っている。  (外部評価)  「事業所通信」や「日常生活報告書」を毎月送付して、事業所の様子やご本人の状態について報告をされている。ご家族の来訪時、職員はご家族と話す機会を持ち、ご本人の普段の様子を伝えて意見をうかがっておられる。花見や敬老会、クリスマス会等にはご家族も招き、ともに楽しむ機会を作っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の見 意見や提案を聞く機会を設け、反映させてい る	(自己評価)	
			ユニット会や勉強会を開き、個々の意見を言える場を 設けている。また、個別に話す機会を設けて意見や要 望を聞く機会を設けている。	
			(外部評価)	
			職員のアイデアで、食後の下膳がしやすいように、 食器を入れるかごを準備して、ご自分で下膳が続けら れるようにされていたり、壁面飾りやケア等もアイ ディアを出し合い決めておられる。昨年度は、職員の 勉強会に力を入れて取り組まれており、全職員で認知 症の理解を深めたり、介護技術の習得等にも取り組ま れた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる	(自己評価)	
			管理者を通して職員の見聞き、職場の条件や環境 の整備に努めている。年1回会社の総会が開催されてお り、新たに資格を取得した職員を表彰し、報奨金をも らえたりと励みになっている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人内研修または外部での研修会の機会はある。掲示 板に研修の情報を張り出している。研修を受けた人は 報告書を書き、資料等は全員で見ることが出来るよう にしている。また、勉強会で発表している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会をつくり、ネットワークづくりや勉 強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地域のグループホーム連絡協議会に参加して情報交換 している。同一法人内のグループホームや施設につい ての情報は比較的入りやすいが、他の施設については あまり情報がない。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するた め関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前に同一施設内のデイサービスやショートステイ を利用していただき情報収集などを行う場合もある が、通常は事前面接などで情報収集している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居の申し込み時より不安に思っていること、困っていること等の相談を受け、個々に応じた対応に努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談時、本人や家族さんの思いや状況を確認し、改善に向けた支援の提案や相談援助を繰り返し行い、信頼関係を築いている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者は人生の先輩であると考えを職員が共有しており、平素から利用者に教えてもらえる場面が多く持てるように工夫している。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの出来事や気付きの情報を共用している。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が家族からの孤立した状態にならないようホームで行う行事等に出来るだけ御家族や友人に参加していた抱けるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が事業所の窓から見える山を見て、以前登ったお話をしてくださったり、地元の人には懐かしい国民休暇村にお茶を楽しみに出かけることもある。お友達が来られた際には、居室でおしゃべりが楽しめるようにお茶等、気配りをされている。</p>	<p>さらに、利用者個々の行ってみたい場所や懐かしいところ等を訪ねるような支援もすすめてみてはどうか。ご本人の思いの把握をすすめ、又、ご家族のご理解やご協力をいただけるよう、働きかけ等も工夫されてみてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事やお茶の時には、職員も一緒にテーブルを囲み、利用者同士の関係が円滑になるよう働きかけている。利用者同士で洗濯物を干したり、たたんだりする中で、お互いに気遣う場面も見られる。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も、御家族からの相談を受けることもあり、相談や支援に努めている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向に添えるように職員で話し合ったり、日々のなかで、利用者の思いをくみ取るよう努めている。ささいなことを見逃さないようにし、職員間で情報が共有できるよう記録や申し送りを行っている。 (外部評価) 利用者は、特に夜間時にご本人の思いを話して下さるようで、職員は、ゆっくりと利用者の思いに寄り添うようにされている。又、さみしそうな表情の利用者には、お話を聞く時間を取るようにされている。	さらに、現在はご本人の情報を大まかに収集されているが、さらに具体的な情報の蓄積に努め、介護計画につなげていかれてほしい。利用者個々の意向等を引き出せるような声かけを工夫されたり、又、情報を集める書式等の工夫も重ねていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者自身の話や家族の面会時に知り得た情報を職員同士で共有できるように生活歴や状態像記入用紙に書き込んでいる。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活習慣や心理面での視点や出来る事、出来ない事に注意し全体の把握に努めている。できることに重点を置き、ケアを行うよう努めている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々のなかで、利用者の要望などを把握し、面会時にご家族に要望をお聞きし、三か月おきに、カンファレンスを行い、介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人やご家族の要望、職員の気付き等を踏まえて、ユニットごとの計画作成担当者が利用者個々の介護計画を作成しておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別にファイルを用意して、体調不良、精神面等の変化を日々記録し職員全員が目を通して見ている。毎月カンファレンスを開き、記録を活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ショートステイや通所介護を行い、本人や家族の要望に沿ったサービスを行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>歌や美容ボランティアの方の訪問が定期的にある。消防機関と協力して年2回、避難訓練を実施している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的な受診には遠隔地以外は状態のわかる職員がお 連れしたり、同行したり、家族と協力し合っている。 グループ内の医療法人との連携が取れているので早急 な対応が可能で適切な指示がもらえている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の体調や状態等については、医師に相談して受 診した方が良ければ、ご家族に相談して受診支援をさ れている。専門医等の受診についてもご家族等と相談 しながら支援されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>体調が悪い利用者がいたり、異変に気付いたときは、 看護師に相談し指示を仰いでいる。施設の看護師や担 当医師と連絡が取れる体制をとっている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時は、本人への支援方法に関する情報を医療機関 に提供している。担当医や病院と連携し情報の交換や 退院に向けての受け入れを行っている。 主に管理者が病院や家族と連携を取っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>主に管理者が行っている。早い段階から本人、家族、 協力医療機関の医師と話し合い意見を聞き連携をと っている。また、体調に変化が見られた時など、すぐ に対応していただけるよう医療機関とも連携をとって いる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は、利用者ご本人の状態や実情に合った適切な 施設で支援を受けられるように、ご家族等とも話し合 いながら支援されており、時にはご家族の近くにある 介護施設を紹介されることもある。入居時には、入浴 設備等、重度化した際の支援に制限があることを説明 し、了承の上で入居するようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	勉強会を聞き対応等について勉強をしている。消防署の協力のもと、救命救急や応急手当の講習を受けている。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	消防署指導のもと、避難訓練を実施している。近隣の会社や個人のお宅にも協力をお願いしている。
			(外部評価)	4月には、スプリンクラーを設置され、近所の方も参加して避難訓練を実施された。近所の方達にご利用者の避難誘導等をしてもらったり、地域の方も含めた連絡網を整備されていた。台所のガスコンロは、職員が離れる時には火を消すことに気を付け、又、職員の喫煙場所も決めて、火を出さないよう気を付けておられる。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	利用者個々の状態に合わせた声かけを心がけている。その都度、言葉かけや対応の仕方を見直したり話し合っている。
			(外部評価)	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	日常生活では、出来る限りご本人の希望を聞くようにし、判断できない方は表情などからくみ取り、対応している。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 花や野菜など好きな方には、一緒に育てるお手伝いをしたり、それぞれの生活歴を大切にするような環境を整えるよう職員間で話し合いをしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 着替えは本人の意思を優先し、自己決定がしにくい利用者に対しては、職員と一緒に考えている。散髪の希望があれば、理美容師に依頼し、訪問してもらっている。また、きわ剃りのボエランティアも利用している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 各人の能力を評価し、調理や配膳など役割分担していただいている。 それまでの生活の中で培った知恵などを教えていただいている。	
			(外部評価) 併設デイサービスで献立を立ててくれるようになっており、旬の食材を利用して、利用者は野菜の下ごしらえをする等、事業所で調理されている。月に2回は、利用者の希望するメニューを採り入れておられ、ユニットによっては、焼き肉や握り寿司も楽しまれている。又、事業所で室内運動会を行った際の賞品をユニットごとにリクエストできるようになっており、利用者の意見で果物やお肉等を希望されたようだ。食前に、飲み込みが良くなるように、歌を歌いながら体操をされている様子が見え、梅やらっきょを漬けておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考え献立を立てている。水分については、摂取量を記入している。入浴前後、入眠前の水分補給も行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを行っている。義歯の磨き残しがあれば介助している。義歯については就寝前にはずし、週二回洗浄剤を用いての洗浄を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)  一人ひとりの力や排泄のパターンを知り誘導をしている。  (外部評価)  利用者個々に記録を付けて排泄の誘導をして、トイレで排泄できるように支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)  排泄チェック表で利用者について職員が把握している。緩下剤を利用している方もいる。薬に頼らず排便できるようにセンナ茶やヨーグルトなども利用している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)  利用者個々に応じた誘い方をして、入浴していただいている。湯温は、個々の好みに合わせている。  (外部評価)  入居間もない頃、入浴を嫌がられる利用者には、職員が一緒にお風呂に入ったこともある。現在は、午後から入浴するようになっており、毎日入浴する方や1日おきに入浴する方、体調等もみながら支援されている。入浴剤を使用したり、ネットを使って石鹸を泡立てて顔を洗い、化粧水を付ける方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)  日中は、ソファーや和室やリビングにてくつろげるようにしている。短時間、居室にて休んでいる方もいる。就寝前、温かい飲み物を勧めている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬表を一冊のファイルにまとめている。服薬時、本人に手渡したり、口に入れるなど、きちんと出来ているか確認している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食材切り、洗濯物を干したり、たたんだり、掃除などできる事をしている。季節により行事を楽しんでいただいている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎朝、天気の良い日には、スタッフ付き添いにてホーム周辺に散歩に出かけ、自然に触れ気分転換を図っている。季節の果物狩りや地域の七夕祭りや運動会などにも、体調を考えながら出かけている。	
			(外部評価) 毎日、午前中散歩されたり、時には、靴等の買い物に行くこともある。受診等でご家族と受診に付き添われた際には、外食して帰られる方もある。季節の花を見に出かけたり、地域の行事等にも積極的に参加されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 施設内でお金を使うことはパン屋さんがきた時くらいであり、個別に必要な買い物も立替払いを行っている。個々の金銭管理能力に応じて援助しているが、小額のお金の入った財布を金庫で預かって買い物を行うときにも、職員が見守り、援助している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は個々の能力に応じてかけていただいたり、取り次いだり支援している。手紙が書ける人には便箋や、ハガキを準備している。宛名書きは主文を職員が書き、絵を色付けしたり、ご自分の名前だけ書いていただいたりしている。また年賀状、暑中見舞いを出す支援も行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	利用者手作りの季節折々の飾り付けや、花を活けている。(ひな祭り、五月人形、クリスマスなど)また、和室の部屋があり、家庭的な雰囲気を楽しめるようにしている。	
			(外部評価)	折り紙や布を使ってアジサイやかたつむりの飾りを作って掲示されていたり、玄関やユニット入口等、各所に季節のお花を生けておられた。居間には畳のスペースがあり、洗濯物を畳んだり、ちょっと横になって過ごされている方もあった。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	テレビの前や、廊下などにソファを置き、思い思いに過ごしていただけるよう、居場所作りをしている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	自宅で使い慣れたタンス、テーブル、鏡台を持って来て頂いている利用者もいる。壁には、カレンダーや写真を貼るなどして、心地よく過ごせるよう努めている。	
			(外部評価)	コルクボードに写真やお手紙を貼ったり、ご家族のお位牌を持ち込まれている方もある。又、窓には日よけのすだれを掛けておられるところもあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	トイレを「便所」と表示して分かりやすいようにしている。本人や家族の了解を得て居室に名札を掲げて、戸惑いを減らしている。特に夜間など分からない時は声かけし、誘導している。	
			(外部評価)		